

令和3年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会

議 事

(1) 令和3年度の館運営状況について

- ① 歴史博物館
 - 1) 事業報告 【資料1】
 - 2) 来館者数の動向 【資料2】

- ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業報告 【資料3】
 - 2) 来館者数の動向 【資料4】

(2) 来年度事業について

- ① 歴史博物館
 - 1) 事業計画 【資料5】

- ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業計画 【資料6】

新潟市歴史博物館運営協議会
(R3～R4年度) 委員名簿

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	新潟大学人文学部名誉教授(民俗)
2	石田 克弥	日本旅行業協会 関東支部 新潟地区委員長
3	石塚 正朗	新潟日報社 読者局 事業担当部長
4	上村 啓	BSN新潟放送 事業局次長 兼 事業部長
5	久保 有朋	古町花街の会
6	坂井 孝	新潟市立南浜中学校長
7	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
8	津野 治彦	新潟市立亀田小学校長
9	永田 向太郎	新潟市小中学校PTA連合会 副会長
10	中村 元	新潟大学人文学部准教授
11	羽生 英一	公募委員
12	本井 晴信	元新潟県立文書館副館長

(50音順)

オブザーバー	遠藤 和典	歴史文化課 課長
--------	-------	----------

新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、令和3年4月1日から令和5年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要綱は平成31年4月1日から施行する。

この要綱は令和3年4月1日から施行する。

令和3年度事業報告 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、4月・7月・10月・1月の4回、展示替えした。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「みなとまち新潟の記憶－新潟町会所文書の世界－」展

これまで「みなとまち新潟」の歴史を語る上で欠かせない資料としてたびたび活用されてきた「新潟町会所文書」を通して「みなとまち新潟」を見つめ直した。

開催期間 令和3年4月10日～5月30日 44日間

観覧者数 1,641人（うち有料観覧者 1,072人、無料観覧者 569人）

② 第18回むかしのくらし展「新潟のくらしと年中行事」

正月、節分、雛祭り、お盆など日本の年中行事の意味を考えるとともに、かつての年中行事を通して新潟の1年間の生活を紹介した。年中行事の思い出を共有できる「ぼくわたしの地域の年中行事」のコーナーを設け、来館者に思い出を書いてもらった。

開催期間 令和3年9月17日～11月14日 52日間

観覧者数 6,878人（無料観覧者）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9/3～9/16を臨時休館とし、企画展の開始を当初の9/11から9/17に変更した。

③ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「近世沼垂町」をテーマに資料を紹介した。また、令和3年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和3年11月27日～令和4年1月30日 49日間

観覧者数 3,991人（無料観覧）

④ 「幕末新潟の絵師」展

市指定文化財「新潟入船之図」を描いた行田魁庵や県指定文化財「大船絵馬」を描いた井上文昌を中心など、幕末期に活躍した新潟の絵師たちについて作品とともに紹介した。

開催期間 令和4年2月11日～3月27日 37日間

観覧者数 開催中

【資料1】

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報、ライブラリーなどを活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。ただし、感染症拡大防止のため制限・中止したものもある。

① 体験の広場事業

体験の広場ではハンズオン機能を制限し、一般見学者には展示見学を主とする施設運用に変更した。また、施設や資料を活用して実施する小学生や家族連れ・大人等を対象とした各種の体験プログラムについては、コロナウイルス感染症拡大による県の特別警報やまん延防止等重点措置を受け中止としたプログラムも多い状況において、計44回(2月時点)実施した。

② 博・学連携事業

小学校62校・中学校22校を受け入れ見学に際し展示解説等を行った。そのほか、学校へ出向いて行う授業を小学校6校、リモート授業を小学校1校で実施した。コロナウイルス感染症拡大に伴う県の特別警報やまん延防止等重点措置により学校の来館中止が続いた。職場体験の中学生の受け入れも中止となった。また、新潟大学と連携して当館学芸員が講師をつとめる寄附講義は昨年度に続きリモートで開講した。大学生を対象とする館実習は、通年および夏休み期間集中の2本を実施した。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的に、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、古文書入門講座 全2回 館長講座 全4回(3月実施予定)

③ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、感染拡大防止に配慮しながら活動を支援した。登録者数114人。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

例年、博物館近隣の市民団体と共催で企画・開催している「堀とさくらのコンサート」は雨天のため中止、「夕涼みコンサート」、「みなと・しもまち・川まつり」は、感染症拡大防止のため中止となった。

② みなとびあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「牡丹山砂丘を歩く」(11/6)・館長講演会「新潟町唐物抜荷再考」(12/5)・学芸員によ

る講座「銀行と絵図でみる江戸時代の新潟町」(2/23)を実施した。

※館長バスツアーは中止とした。

(5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要 18号』にまとめた。

(6) 資料整理事業

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「川・街・港 変わりゆく風景」展

新潟の街を数多く撮影してきたアマチュアカメラマン桜井進一氏の作品を展示した。日常風景を始め、新潟地震の被害状況、再開発により変化する新潟港、信濃川を軸に大きく変わる街の様子を写真により紹介した。

※みなとの博物館ネットワークフォーラム助成事業

開催期間 令和3年7月17日～8月29日 38日間

観覧者数 3,207人(常設展観覧券購入者に限定)

② 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全20回の実践向け演習を行った。参加登録者24名。

※9月、1月、2月の全3回を感染症拡大防止のため中止とした。

③ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる全11回の体験プログラムを実施した。クラブ員21名。

※1月、2月の2回を感染症拡大防止のため中止とした。

【資料1】

④大人の体験プログラム

「鮭の塩引きづくり」(11/13) 会場：いくとびあ食花調理実習室 参加者 16名

⑤特別講演会

新潟県民具学会共催講演会「民俗資料をどう活かすか？」(11/7) 会場：セミナー室
参加者 59名

⑥古町学

旧新潟町エリアを学びの場とし、市民参加によって歴史・文化・魅力を掘り起こす地域学として本年度から実施。

本年度はテーマを「古町学ことはじめ」とし、文化庁の「令和3年度文化芸術振興費補助金・地域と協働した博物館創造活動支援事業」を受託して下記の事業を実施した。

- 「古町学」設立記念講演会(7/25) 会場：新潟市民プラザ
- この人に聴く“古町の歴史・文化・今”(7~9月) 各分野の方へのインタビュー調査
- 港町再発見“信濃川から町の魅力を探る”(9/25) 信濃川ウォーターシャトル乗船のワークショップ
- 古町子ども研究所(8/7・10/2) 小学生研究員による商店街調査
- 「復活！古町芸妓の練り歩き」(10/31) 古町芸妓と一般参加者による江戸時代の白山詣行列を再現
- 「古町学ことはじめ」成果報告会(1/14) 会場：新潟市民プラザ

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館(常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等)
- ② 旧第四銀行住吉町支店(応接室、会議室、日本間)
- ③ 屋外施設(広場、堀、園路等)

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡(石段、石積み、石庫等)

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

■令和3年度歴史博物館入館者数 53,979人(1月末現在) ※昨年同時期 52,940人

【資料2】

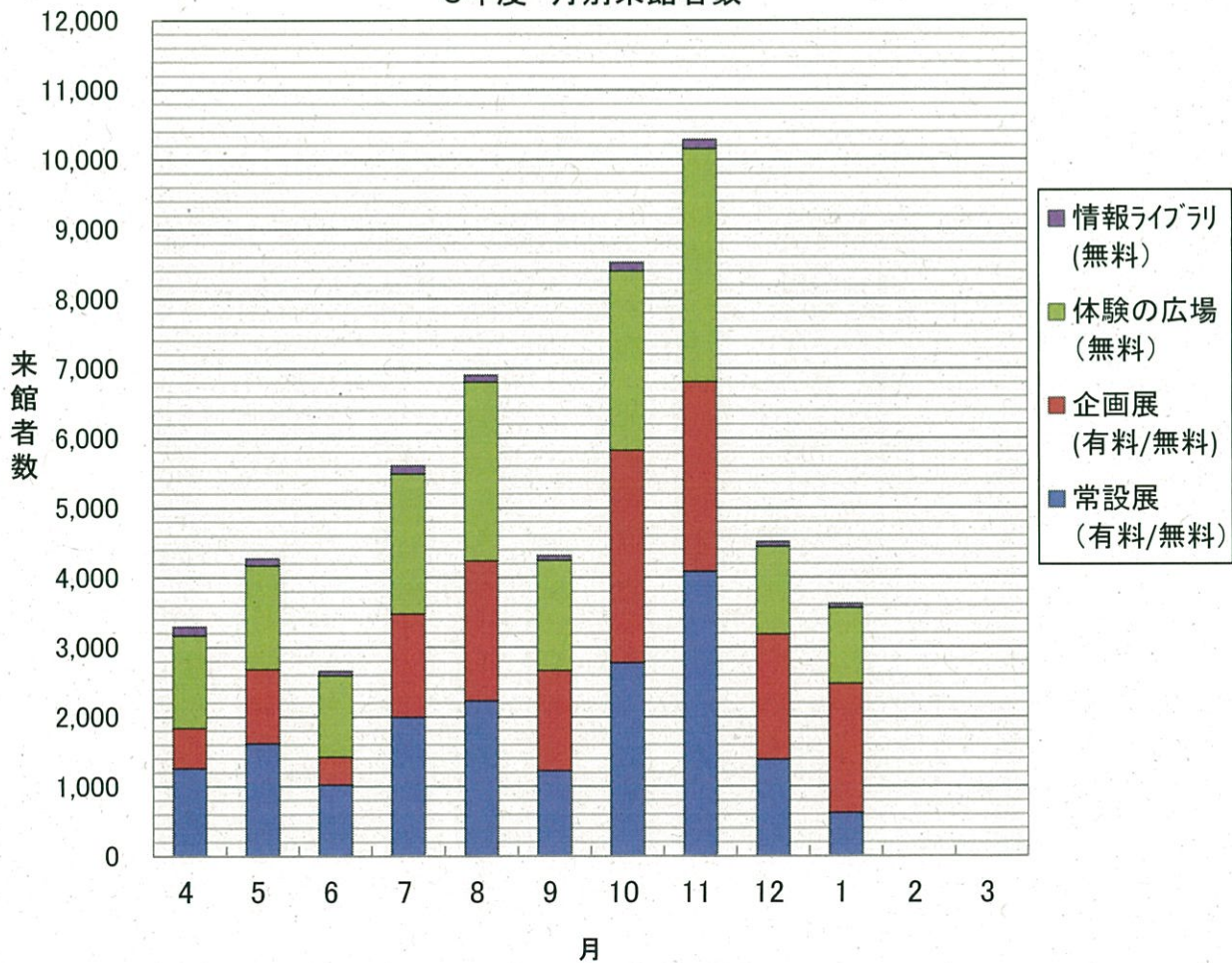
令和3年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R3月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	1,262	579	1,330	125	3,296	127
5	26	1,624	1,062	1,491	93	4,270	164
6	20	1,023	404	1,169	59	2,655	133
7	26	2,000	1,480	2,009	115	5,604	216
8	27	2,233	2,012	2,561	99	6,905	256
9	15	1,226	1,445	1,578	66	4,315	288
10	27	2,781	3,050	2,570	119	8,520	316
11	25	4,090	2,722	3,343	127	10,282	411
12	22	1,389	1,800	1,258	65	4,512	205
1	24	623	1,852	1,091	54	3,620	151
2						0	#DIV/0!
3						0	#DIV/0!
計	238	18,251	16,406	18,400	922	53,979	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」689人を含む

3年度 月別来館者数



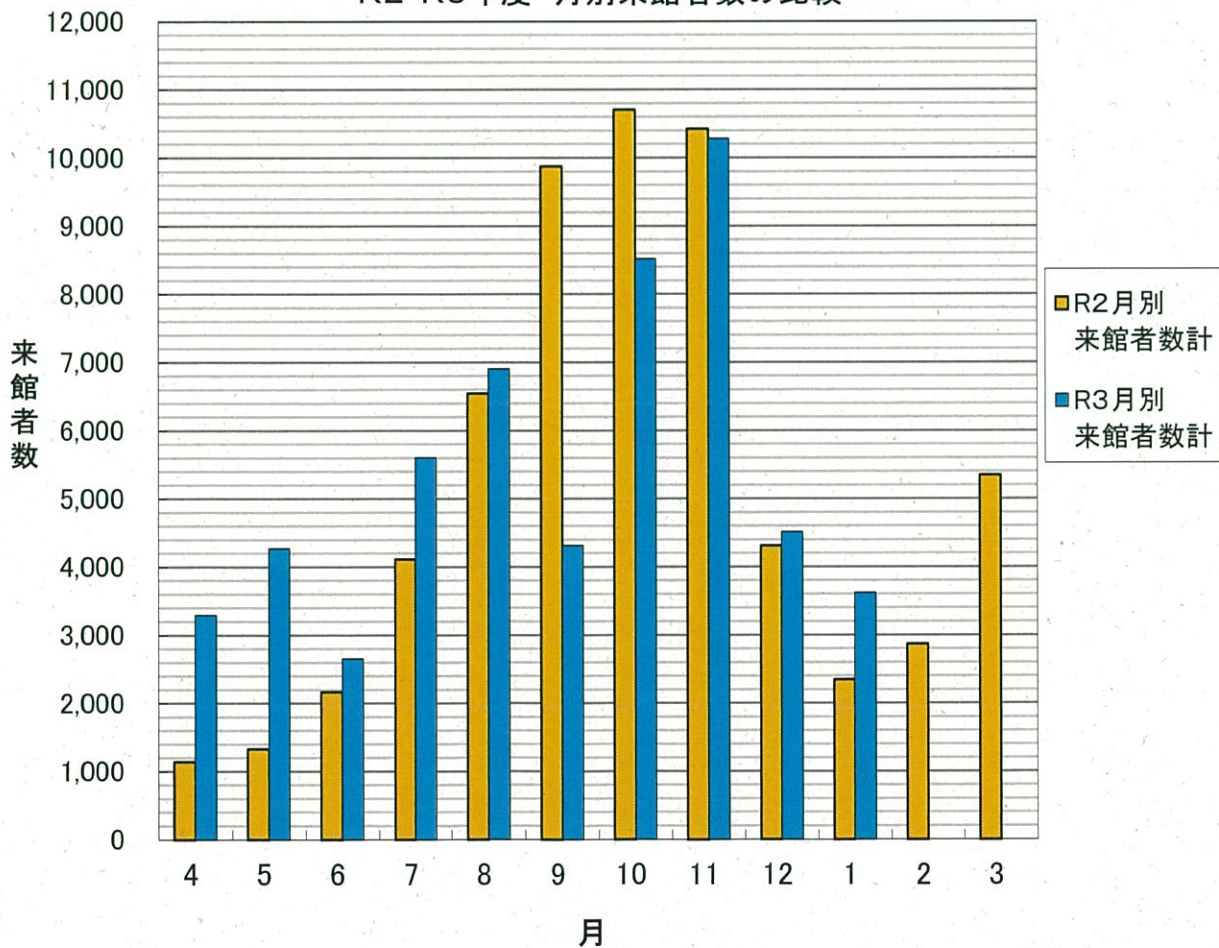
<参考> 令和2年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R2月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	17	270	161	651	60	1,142	67
5	18	455	414	458	0	1,327	74
6	24	754	510	858	42	2,164	90
7	21	1,512	1,181	1,283	134	4,110	196
8	27	2,227	1,611	2,594	113	6,545	242
9	27	2,431	4,014	3,286	140	9,871	366
10	27	2,575	4,844	3,142	143	10,704	396
11	25	4,154	2,786	3,349	132	10,421	417
12	24	1,048	1,647	1,528	88	4,311	180
1	24	422	1,064	824	35	2,345	98
2	16	636	783	1,360	89	2,868	179
3	25	1,856	1,297	2,095	95	5,343	214
計	275	18,340	20,312	21,428	1,071	61,151	

*貸館による「現代工芸展」は自粛により主催者の判断で中止

R2・R3年度 月別来館者数の比較

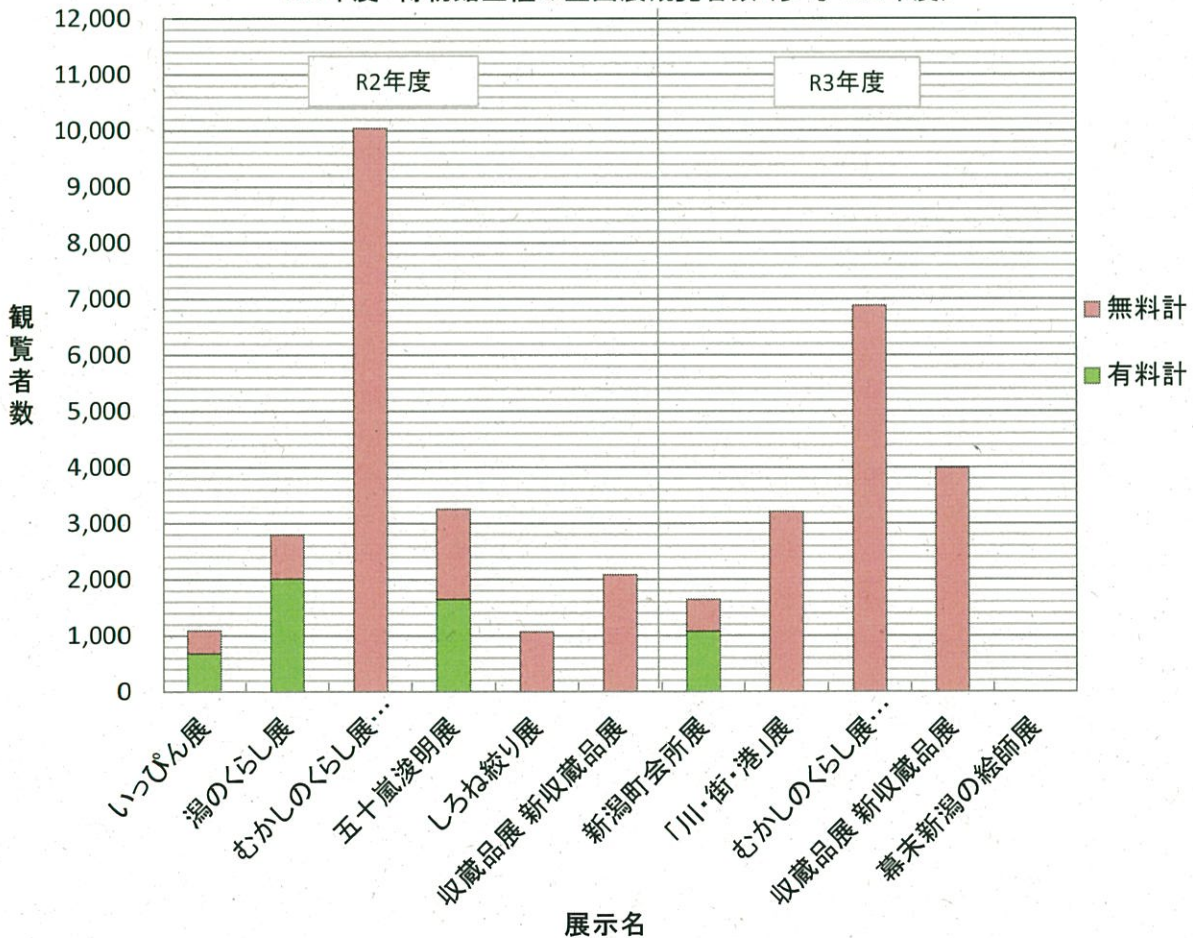


【資料2】

R3年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R2年度）

	企画展名	会期	開館 日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
R2 年度	いっぴん展	4.11～6.21 (4.21～5.10休館)	44	1,085	681	463	218	404	0	59	25
	潟のくらし展	7.11～8.23	38	2,792	2,014	1,338	676	778	69	214	73
	むかしのくらし展 「新潟の昭和」	9.12～11.3	47	10,039	0	0	0	10,039	1,096	0	214
	五十嵐俊明展	11.14～12.27	38	3,252	1,647	953	694	1,605	696	98	86
	しろね絞り展	1.16～1.31	14	1,064	0	0	0	1,064	0	0	76
	収蔵品展 新収蔵品展	2.13～3.28	36	2,080	0	0	0	2,080	0	0	58
R3 年度	新潟町会所展	4.10～5.30	44	1,641	1,072	704	368	569	115	88	37
	「川・街・港」展	7.17～8.29	38	3,207	0	0	0	3,207	0	0	84
	むかしのくらし展 「新潟のくらしと年中行事」 (9.11～9.16休館)	9.17～11.14	52	6,878	0	0	0	6,878	2,072	0	132
	収蔵品展 新収蔵品展	11.27～1.30	49	3,991	0	0	0	3,991	0	0	81
	幕末新潟の絵師展	2.11～3.27	37	0	0	0	0	0	0	0	0

R3年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 R2年度）



令和3年度事業報告 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

開館10周年を記念した企画展や旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

①桜井進一氏写真展「新潟むかし：西堀」展

桜井進一氏が撮影した西堀の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧した。

開催期間 令和3年4月10日(土)～7月11日(日)

観覧者数 2,122人(有料観覧者1,771人、無料観覧者351人)

②ミニ展示「端午の節句飾り」展

小澤家に伝わる兜や、収蔵する五月人形などを展示した。

開催期間 令和3年4月10日(土)～5月16日(日)

観覧者数 793人(有料観覧者714人、無料観覧者79人)

③「北前船のおくりもの展—新潟に招来した古伊万里—」

新潟県内に伝わった草創期・早期の古伊万里を軸に、江戸時代後期までのさまざまな古伊万里を展示した。

開催期間 令和3年6月13日(土)～7月11日(日)

観覧者数 792人(有料観覧者605人、無料観覧者187人)

共催：新潟ハイカラ文庫

④「みんなの問題・海のごみ」展

一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示した。

市内でビーチコーミングをされている方からお借りした、新潟の浜で拾える漂着物の展

【資料3】

示も行った。

開催期間 令和3年7月17日(土)～8月1日(日)
観覧者数 318人(有料観覧者268人、無料観覧者50人)
協力：一般社団法人JEAN

⑤ 開館10周年記念「小澤家と北前船」展

開館10周年記念展として、北前船経営に関する小澤家の経営資料をはじめ、船道具や新潟港から移出した主力商品であった焼酎(焼酎徳利)等を展示した。

開催期間 令和3年7月22日(木)～8月29日(日)
観覧者数 579人(有料観覧者504人、無料観覧者75人)
共催：新潟ハイカラ文庫

⑥ 「着物—新潟花街の華の衣装—」展

昭和期の新潟の花街の芸妓が袖を通した華やかな着物を展示した。

開催期間 令和3年9月17日(金)～10月3日(日)
観覧者数 664人(有料観覧者598人、無料観覧者66人)
協力：着物洛松

⑦ 「新潟仏壇工芸」展

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示した。また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介した。

開催期間 令和3年10月16日(土)～11月7日(日)
観覧者数 1,167人(有料観覧者655人、無料観覧者512人)
共催：新潟仏壇組合

⑧ 郵便制度150年記念「時代と共に生きる切手の世界」展

郵便制度150年にあわせて、新潟の郵便制度や切手の魅力について展示紹介した。

開催期間 令和3年11月13日(土)～12月12日(日)
観覧者数 1,315人(有料観覧者1,163人、無料観覧者152人)
共催：新潟郵趣会・新潟ハイカラ文庫
協力：日本郵便株式会社新潟支部会

⑨ 「すごろく」展

お正月にあわせて、明治・大正のすごろくを展示した。

開催期間 令和3年12月18日(土)～令和4年1月16日(日)
観覧者数 279人(有料観覧者233人、無料観覧者46人)
協力：新潟郵趣会・新潟ハイカラ文庫

⑩ 「ひな人形とからくり人形」展

当館及び新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛やからくり人形を展示する。

開催期間 令和4年2月19日(土)～3月21日(月)
共催：新潟ハイカラ文庫

【資料3】

※11月13日～1月16日に予定していた開館10周年記念「小澤家の婚礼料理」展は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。

(2) 教育普及事業

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

① にじいろカフェ・・・6月18日（金）

新潟シティガイドの勉強会を開催した。

② 庭園講習会・・・6月27日（日）

夏場の庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。

③ 古文書講座初級編・・・6月8日（火）・9日（水）・15日（火）・16日（水）・22日（火）
23日（水）・7月13日（火）・14日（水）・20日（火）・21日（水）
8月3日（火）・4日（水）

④ 古文書講座入門編・・・10月5日（火）・6日（水）・12日（火）・13日（水）
19日（火）・20日（水）

本井晴信氏を講師に迎え、古文書の初心者向け講座・入門講座を実施した。参加者の要望に応え、補講も1回追加実施した。

⑤ 新潟仏壇工芸ワークショップ・・・10月17日（日）・24日（日）・31日（日）
11月3日（水）

「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、伝統工芸士による蒔絵実演、職人指導によるワークショップ（金具打ち・蒔絵塗）を開催した。

⑥ クリスマスのミニアレンジ作り・・・12月4日（土）

クリスマスにテーブルに飾れるミニアレンジメントの教室を開いた。

⑦ 稲穂で作る正月飾り・・・12月5日（日）

稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。

⑧ 講演会「郵便制度と年賀状」・・・12月11日（土）

「時代と共に生きる切手の世界」展にあわせて、佐々木雄二氏を講師に「郵便制度と年賀状」を題目に講演会を実施した。

⑨ お正月の苔玉作り・・・12月12日（日）

お正月飾り用の苔玉の製作教室を開いた。

⑩ 稲わらでつくるひな人形・・・2月20日（日）

「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催する。

⑪ ふろしき講座・・・2月26日（土）

「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施する。

⑫ フラワーアレンジメントワンディレクشن・・・3月5日（土）

フラワーアレンジメントの展示にあわせて、体験教室を開く。

【資料3】

⑬ からくり人形の実演・・・3月6日(日)

「ひな人形とからくり人形」展にあわせて、からくり人形の実演を行う。

⑭ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドを養成した。

※7月に予定していた「新潟甚句・佐渡おけさ講習会」と宿泊体験は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、お月見やお正月など時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 応接セットの展示・・・4月21日(水)～6月2日(水)

藤の間に応接セットを展示し、応接間として使われていた往事の姿を再現した。

② 山野草の展示・・・5月14日(金)～22日(土)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

協力・花や木下

③ 蛙まつり・・・6月5日(土)～6月30日(日)

6月6日の「かえるの日」と梅雨にあわせて、職員ら有志が持ち寄った蛙をモチーフにした置物、ぬいぐるみ、手拭いや絵本などを展示し、かえるクッキーや、福祉事業所で作成した「かえるちゃん」ポーチの販売も行った。

④ 夏至祭ミニ・・・6月20日(日)

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて飲食の提供や物販、唄と三味線と踊りのライブを行った。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年に引き続き今回も1日限りのミニ版に変更して開催した。

共催・Bar Book Box

⑤ おやつの日(7月)・・・7月18日(日)

町のにぎわいを絶やさないことを目的に、市内の飲食店を招いておやつの販売を行った。こはく会による、唄と三味線と踊りのライブも開催した。

⑥ きのかまつり・・・10月6日(水)～14日(木)

10月10日の「きのこの日」にあわせて、旧小澤家住宅や新潟市内に生えたきのこの写真パネルを展示した。

⑦ 文化の日 無料公開・・・11月3日(水・祝)

文化の日にちなみ、新潟市内の文化施設とともに入館料を無料とした。

⑧ 秋のミニ文化祭・・・11月23日(月・祝)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、飲食の提供や物販、唄と三味線

【資料3】

と踊りのライブを行った。感染症の拡大防止に配慮して、例年の文化祭よりも規模を小さくし、「ミニ文化祭」として開催した。

⑨ 年忘れ煎茶会・・・12月19日（日）

煎茶道東阿部流による年末の煎茶会を開催した。

⑩ ねこまつり・・・1月26日（水）～2月6日（日）

寅年に合わせて、猫に関する展示や物販を行った。

⑪ 箏の演奏会・・・2月23日（水）

旧小澤家住宅の春の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催する。

⑫ ふろしき展示

通り土間に、イベントや季節にあわせたふろしき包みを展示した。

⑬ ミニ展示

通り土間や茶の間に、氷コップや豆ランプ、スタンドグラスや人形などを展示した。

※5月に予定していた「藤見煎茶会」ほか飲食に関するイベントは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

（4）調査研究事業

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。

（5）収蔵資料保存管理事業

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 令和3年度 旧小澤家住宅入館者数・・・令和4年1月末現在

9,244人（対前年度比97.6%）

新型コロナウイルス感染拡大の影響が続いている。

○ 旧小澤家住宅の付帯事業

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、書籍などを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

【資料3】

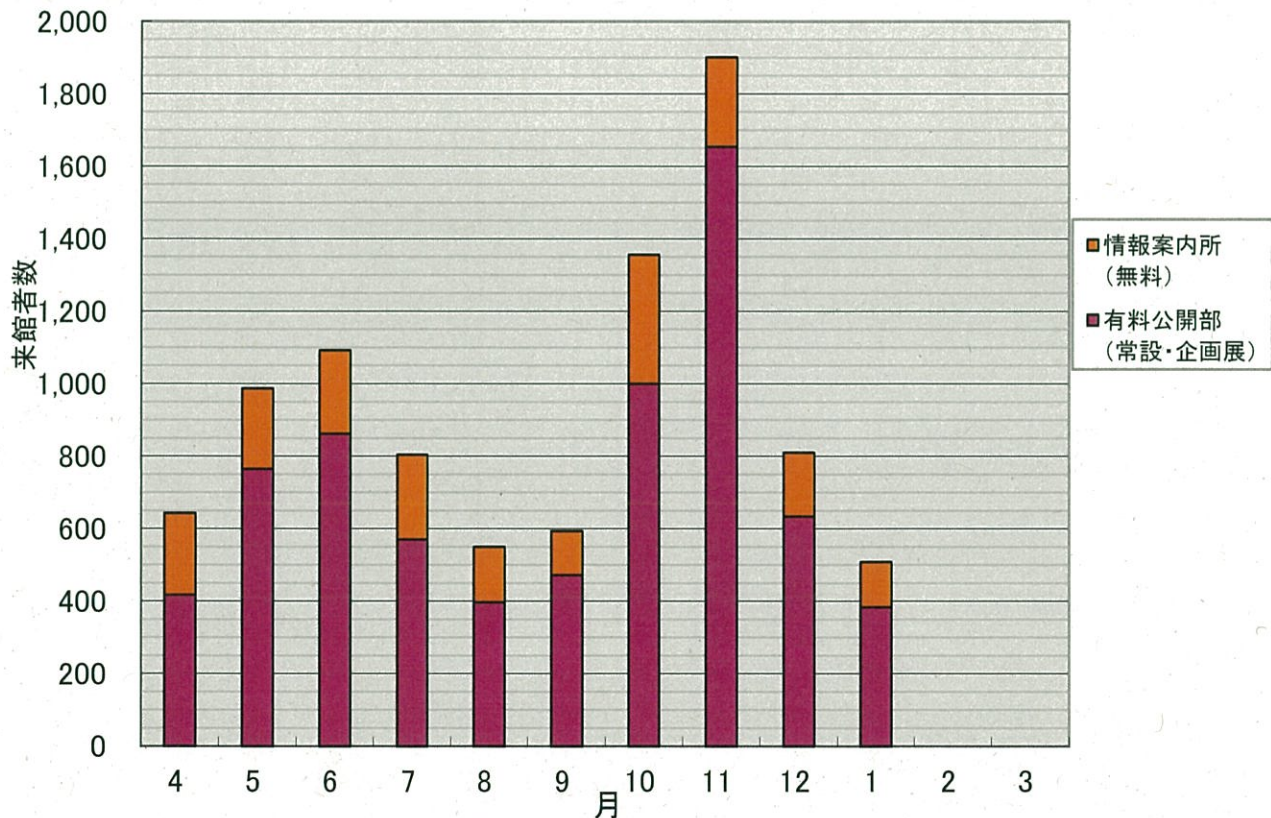
当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、手ぬぐい、トートバッグ、Tシャツ、マグカップなどの開発・販売にも力を入れ、開館10周年である令和3年度はオリジナルの「小澤家珈琲」ドリップパックを販売した。

令和3年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R3月別 来館者数計	R3日平均 来館者数	備考
4	25	417	226	643	26	
5	26	765	222	987	38	
6	26	862	230	1,092	42	
7	26	570	234	804	31	
8	26	397	153	550	21	
9	13	472	121	593	46	
10	27	1,000	356	1,356	50	
11	23	1,654	247	1,901	83	
12	23	634	176	810	35	
1	17	383	125	508	30	
2	22			0	0	
3	27			0	0	
計	281	7,154	2,090	9,244	33	

3年度月別来館者数

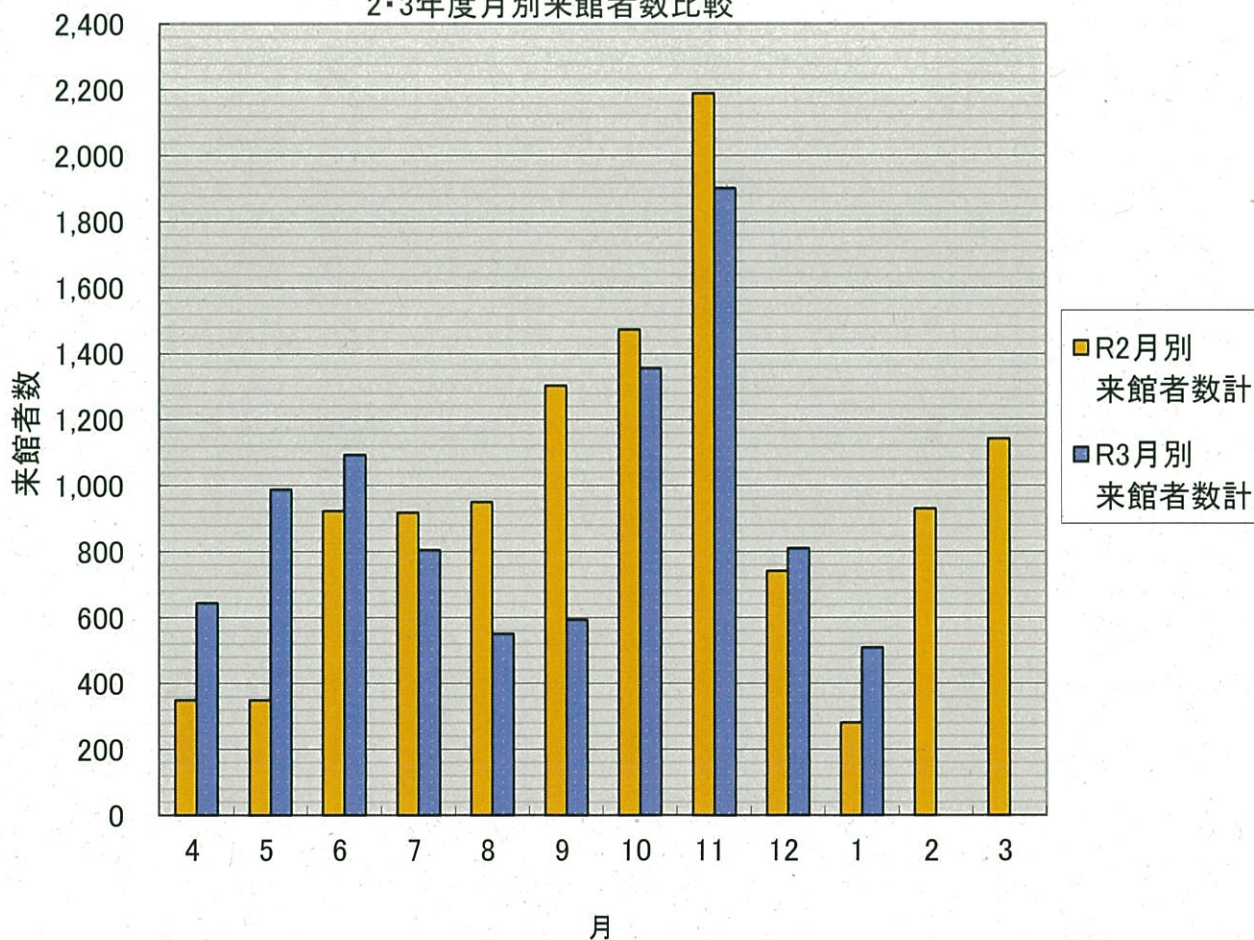


令和2年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R2月別 来館者数計	R2日平均 来館者数	備考
4	17	173	176	349	21	
5	18	164	185	349	19	
6	25	565	357	922	37	
7	26	576	341	917	35	
8	26	553	397	950	37	
9	26	814	488	1,302	50	
10	27	1,056	416	1,472	55	
11	24	1,811	378	2,189	91	
12	24	467	274	741	31	
1	17	100	181	281	17	
2	22	664	266	930	42	
3	25	792	350	1,142	46	
計	277	7,735	3,809	11,544	42	

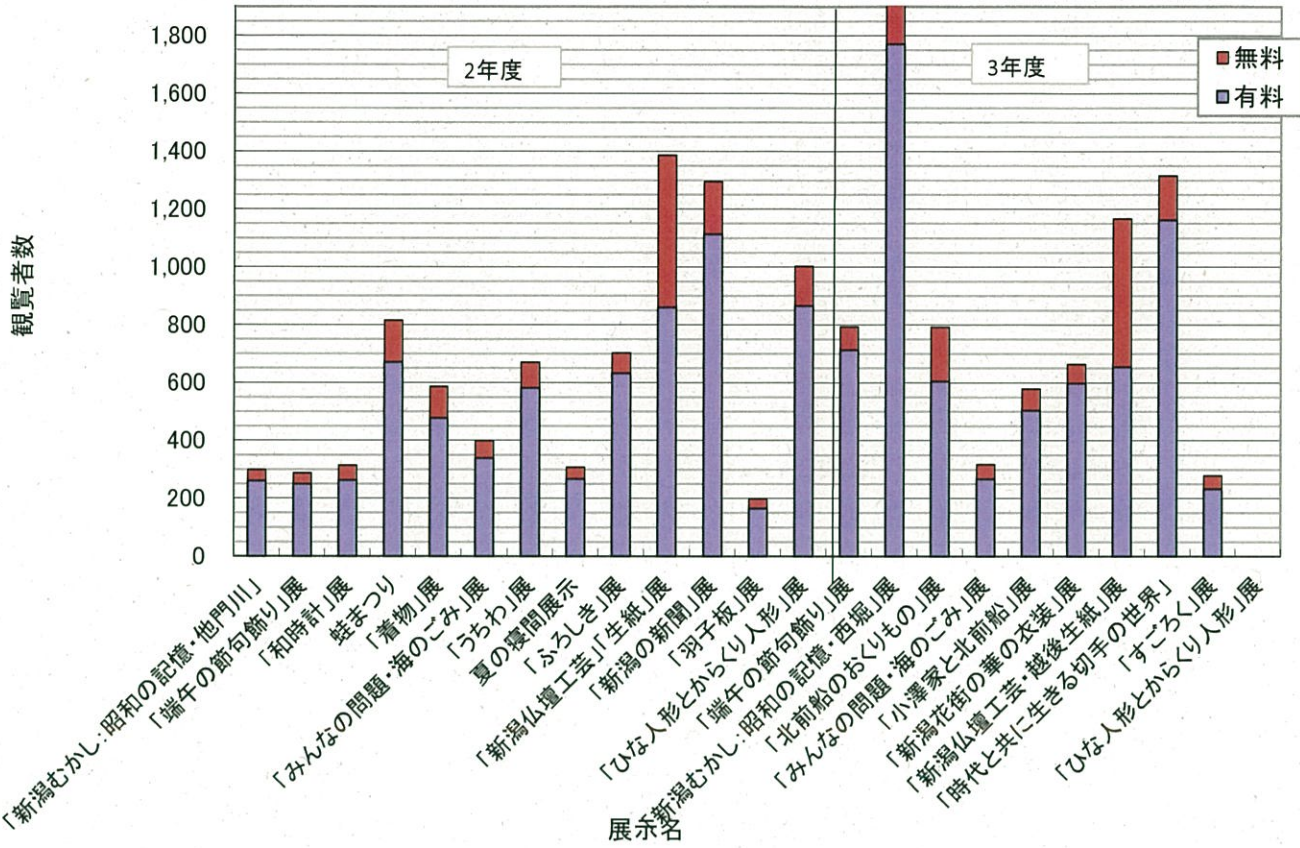
2・3年度月別来館者数比較



R3年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考2年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
2 年 度	「新潟むかし:昭和の記憶・他門川」	R2.4.4~5.31(32日間)	299	261	150	111	38		1	32	9
	「端午の節句飾り」展	R2.4.7~6.3(32日間)	288	250	140	110	38		1	32	9
	「和時計」展	R2.5.23~6.14(20日間)	314	263	132	131	51		1	20	16
	蛙まつり	R2.6.6~7.19(38日間)	815	672	337	335	143	9	11	38	21
	「着物」展	R2.6.20~7.19(26日間)	586	478	246	232	108	9	11	26	23
	「みんなの問題・海のごみ」展	R2.7.18~8.2(13日間)	399	340	165	175	59		10	13	31
	「うちわ」展	R2.7.25~8.30(31日間)	670	582	289	293	88		13	31	22
	夏の寝間展示	R2.8.8~8.23(14日間)	308	268	118	150	40		4	14	22
	「ふろしき」展	R2.9.5~9.27(20日間)	703	633	274	359	70		19	20	35
	「新潟仏壇工芸」「生紙」展	R2.10.17~11.8(19日間)	1,386	861	342	519	525		12	19	73
	「新潟の新聞」展	R2.11.14~12.13(26日間)	1,295	1,114	541	573	181	35	31	26	50
	「羽子板」展	R2.12.19~R3.1.17(20日間)	199	166	89	77	33			20	10
	「ひな人形とからくり人形」展	R3.2.20~3.21(25日間)	1,002	866	435	431	136		17	25	40
3 年 度	「端午の節句飾り」展	R3.4.10~5.16(31日間)	793	714	350	364	79		6	31	26
	「新潟むかし:昭和の記憶・西堀」展	R3.4.10~7.11(79日間)	2,122	1,771	896	875	351	28	52	79	27
	「北前船のおくりもの」展	R3.6.13~7.11(25日間)	792	605	339	266	187		42	25	32
	「みんなの問題・海のごみ」展	R3.7.17~8.1(13日間)	318	268	128	140	50		12	13	24
	「小澤家と北前船」展	R3.7.22~8.29(33日間)	579	504	209	295	75		5	33	18
	「新潟花街の華の衣装」展	R3.9.17~10.3(14日間)	664	598	338	260	66		12	14	47
	「新潟仏壇工芸・越後生紙」展	R3.10.16~11.7(19日間)	1,167	655	350	305	512		15	19	61
	「時代と共に生きる切手の世界」	R3.11.13~12.12(25日間)	1,315	1,163	535	628	152	11	26	25	53
	「すごろく」展	R3.12.18~R4.1.16(20日間)	279	233	70	163	46		2	20	14
「ひな人形とからくり人形」展	R3.2.19~3.21(26日間)	0	0						26	0	

令和3年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考2年度）



令和4年度事業計画 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。次年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「にいがたの中世」展

開催期間 令和4年4月16日～5月29日 39日間

平安時代末から戦国時代までを対象とし、なかでも上杉謙信などの武士たちが華々しく活躍した時代を中心に、古文書や考古資料によって新潟市および新潟県の中世の歴史をたどる。

② ～大河津分水通水100周年・関屋分水通水50周年記念 6館リレー展～

「大河津分水・関屋分水と新潟市」展

開催期間 令和4年7月17日～8月28日 37日間

当館をはじめ、燕市分水良寛史料館、燕市長善館史料館、信濃川大河津資料館、長岡市立科学博物館、新潟県立歴史博物館の6館の連携によるリレー展。当館では新潟市における分水の役割を、都市機能整備や治水をめぐる歴史を通して紹介する。

③ 第19回むかしのくらし展「ごっつお！」

開催期間 令和4年9月10日～11月27日 67日間

新潟ではどんなごちそうが食べられてきたのか。身近にある食べものや食事のしかたなどのうつりかわりを知り、いまの新潟の食を楽しむヒントを提案する。

③ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和4年12月10日～令和5年2月5日 44日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、令和4年度に新たに受け入れる資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

④ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

【資料5】

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味ニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔のくらしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。また博物館ホームページに新しいコンテンツ制作を予定。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- | | |
|----------|------------------------|
| ・博物館講座 | 年10回（6月、3月を除く各月の第3日曜日） |
| ・館長講座 | 全4回（開催日調整中） |
| ・古文書入門講座 | 全4回（開催日調整中） |

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業

市民の関心を引き起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地のくらし」に合わせた調査・研究を基本とし、そ

のほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

令和3年度から再スタートした自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「近世新潟町」展

開催期間 令和5年2月18日～3月26日 31日間

江戸時代に日本海側有数の港町として栄えた新潟町。地下深くには江戸時代の町の痕跡が広範囲にわたって残っており、「近世新潟町跡」と名付けられて調査が行われている。出土した資料や絵図などの記録をもとに、江戸時代の新潟町を解き明かす。

② 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読みたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」方向けの講座。予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

各月1回の開催を予定。定員30人。

④ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代にいたる人々の暮らしの一端を体験用にプログラム化し、体験を通じて歴史を身近に感じ、かつての暮らしの知恵や文化財保護を考えるきっかけとする。

毎月第3日曜日に実施 全11回 20人程度募集

④ 大人の体験プログラム

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

⑤ 特別講演会

新潟市の文化財や文化的風土をテーマとする講演会を企画・開催する。

【資料5】

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

令和4年度事業計画 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として、旧小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

① 「引札」展

開催期間 令和4年4月2日(土)～5月8日(日)

新潟市をはじめ日本各地の明治期の諸商売の業種の有り様を引札を通じて紹介する。

協力：新潟ハイカラ文庫

② 「五姓田芳柳人物画」展

開催期間 令和4年5月14日(土)～6月12日(日)

明治期に人気を博した横浜絵の第一人者である五姓田芳柳が描いた作品のうち、初公開となる新潟市内の人物画3点を中心にその絵の魅力を紹介する。

協力：行形亭・新潟ハイカラ文庫

③ 「そば猪口 -江戸時代のデザイナー-」展

開催期間 令和4年6月18日(土)～7月10日(日)

江戸時代の人々の感性やデザインセンスをそば猪口に描かれた図柄を通じて展示紹介する。

④ 「みんなの問題 海のゴミ」展

開催期間 令和4年7月16日(土)～7月31日(日)

一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。

協力：一般社団法人JEAN

⑤ 桜井進一写真展「新潟まつり」

開催期間 令和4年7月16日(土)～8月28日(日)

桜井進一氏が撮影した新潟まつりの写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。

【資料6】

⑥「面白図柄古裂（こぎれ）」展

開催期間 令和4年9月3日（土）～9月25日（日）

大正・昭和期の着物の古裂（こぎれ）を通じて、時代を反映し流行した当時のデザインの一部を紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

⑦「新潟仏壇工芸」展

開催期間 令和4年10月15日（土）～11月6日（日）

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

共催：新潟仏壇組合

⑧「ふろしき」展

開催期間 令和4年11月19日（土）～12月25日（日）

身近なものとして使用されてきたふろしきについて、図柄だけでなく実用的な使い方と併せて事例展示することを通じて、布一枚で広がる世界とその魅力を紹介する。

共催：大嶋屋呉服店

⑨「カルタと双六」展

開催期間 令和5年1月7日（土）～2月1日（水）

正月の遊びとしてあった双六やカルタについて、新潟を題材にした双六のほか他県のカルタで地方色あるものやユニークなものを展示紹介する。

協力：新潟ハイカラ文庫

⑩「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和5年2月18日（土）～3月21日（火）

上巳にあわせ、当館及び市内で使用された雛人形を展示する。また、新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛や動く人形としてからくり人形も展示紹介する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験（「新潟仏壇工芸」展中）

からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）

稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）

・ふろしき講座（「ふろしき」展中）

・新潟甚句、佐渡おけさ講習会

・クリスマスとお正月のフラワーアレンジメント

・稲穂でつくる正月飾り

・フラワーアレンジメントワンディレクソン

- ② 宿泊体験事業
 - ・新潟市内の小学4年生を招いて、宿泊体験を行う。
- ③ 講座・講習・講演会事業
 - ・古文書講座 全2回（春1回、秋1回）
 - ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

- ① 芸術文化活動の開催
 - ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和5年1月中
- ② 季節に合わせたしつらい
 - ・山野草の展示
- ③ 季節に合わせたイベントの開催
 - ・藤見煎茶会、年忘れ煎茶会
 - ・夏至祭 令和4年6月18日（土）・19日（日）
 - ・秋の大文化祭 令和4年11月23日（水）
- ④ 食・音楽・季節をテーマにしたイベントの開催

(4) 調査研究事業

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業

小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

2 文化施設管理受託事業

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

【資料6】

○付帯・施設貸与事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、旧小澤家住宅でしか手に入らないオリジナル商品をはじめ、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。